

RKダブルピッチ ローラチェーン用スプロケット

■伝動用及び搬送用・小形ローラシリーズ

●このチェーンのローラは、そのピッチの $\frac{1}{2}$ の標準形ローラチェーンと径・幅とも同寸法です。従って標準形ローラチェーン用カッターとホブでスプロケットの歯切りができます。ただしこのスプロケットでは、スプロケットの歯を一つ置きにローラと正確にかみ合わせるために、ごく僅かばかり標準ローラチェーン用スプロケットのピッチ円直径より大きくなります。この差は歯数が多いほど微少となりますので、ダブルピッチローラチェーンのピッチの $\frac{1}{2}$ の標準形ローラチェーン用スプロケットで歯数24枚以上では使用上支障がありません。

●次に歯数ですが、30枚のスプロケットは、作用歯数15枚のダブルピッチ用として用いられます。この場合には遊んでいる歯ができますので、ローラのかみ合いを一つずらせば今まで遊んでいた歯とかみ合い、新品の状態と同じになります。また、29枚では作用歯数 $14\frac{1}{2}$ となり、この場合は端数があるため、一回転毎に歯が一枚ずつずれてかみ合うので、チェーンのローラはスプロケットの歯に平均して当たり、一般の歯形のスプロケットの寿命を2倍に保つ事となります。

●スプロケットの横歯形は、標準形ローラチェーン用と全く同じです。

■搬送用・大形ローラシリーズ

●このチェーンのローラは、そのピッチと同じピッチの標準形ローラチェーンのローラと同一径のため、同一ピッチの標準形ローラチェーン用カッターとホブでスプロケットの歯切りができます。但し、ローラの幅がせまいので歯の厚さは薄くなります。標準形ローラチェーン用スプロケットを使用する場合は、歯幅のみに修正を加えて使用できます。

ダブルピッチローラチェーン用スプロケットの
ピッチ円直径を求める係数

作用歯数	総歯数		ピッチ円直径係数
	Rローラ	Sローラ	
6	6	12	2.000
$6\frac{1}{2}$		13	2.152
7	7	14	2.305
$7\frac{1}{2}$		15	2.458
8	8	16	2.613
$8\frac{1}{2}$		17	2.768
9	9	18	2.924
$9\frac{1}{2}$		19	3.080
10	10	20	3.236
$10\frac{1}{2}$		21	3.392
11	11	22	3.549
$11\frac{1}{2}$		23	3.706

ピッチ円直径(d) = ピッチ円直径係数 × ピッチ(p)

